



ただ「美しい・かっこいい」デザインを追究するのではなく、「使いやすい・機能的」など、使用するユーザーの為になる「欲しくなるデザイン」を研究しています。

略歴

スタンレー電気株式会社にて新機種開発業務、商品企画業務に従事。車のヘッドライト・リアランプ・フォグランプ・エアコンパネル等のデザインや東京モーターショーなどの企画を担当した。

2018年4月より、本学にて製品造形研究室を担当。

所属学会など

芸術工学会
日本感性工学会
日本デザイン学会

研究紹介

困りごと+aのデザイン提案

デザインの研究をしていると、様々な「困りごと」についてのご相談を受けます。その1つ1つをインタビューや現場での観察、3Dプリンタを使用したラピットプロトタイピングを用いた実験を繰り返し行うことで、困りごとを解決する品を作り出すだけではなく、さらに便利になる・使いやすくなるなど「+a」の付加価値をつけた魅力的なデザイン提案を行います。

近年、埼玉県立蓮田特別支援学校・埼玉県立越谷西特別支援学校の子供達に向けたアイテム提案を行っています。

「子供達が○○できなくて困っている」と言われた場合、子供達の困りごとが解決できれば良いと思いがちです。

しかし、インタビューや観察をしてみると、実際にそのアイテムを準備したり使用の補助をするのは先生や親御さんであり、そちらにも困りごとが隠されているケースが多くあります。そこで「子供たちが楽しく使える+準備がすぐにできる+使用補助が楽にできる」など、ユーザーのためにさらに踏み込んだデザイン提案を行っています。



写真は特別支援学校に実際に提供した作品の一部

共同研究の事例

日本カルミック（株）との大人用おむつ処理機のデザイン

主な作品

企業・店舗等のロゴマークデザイン
大人用おむつ処理器のデザイン
特別支援学校に向けた玩具のデザイン提案